

# 会 議 録

## 1. 会議名

第1回仙北地域協議会

## 2. 委嘱状の交付

## 3. 職員紹介

## 4. 市長あいさつ

## 5. 事務局より説明（地域協議会とは）

- ・大仙市地域自治区の設置等に関する条例
- ・仙北地域協議会運営規程
- ・地域協議会の役割

## 6. 議題（公開・非公開の別）

- (1) 会長及び副会長の選任について【会長あいさつ】（公開）
- (2) 会議録署名委員の指名（公開）

## 7. その他

- (1) 地域協議会の開催日時について
- (2) 席順について

## 8. 開催日時

平成21年4月24日（金） 午前10時～

## 9. 開催場所

仙北庁舎「第1会議室」

## 10. 傍聴人の数

0人

## 11. 出席したものの氏名

委 員 : 池田キミ 池田佐喜男 池田武 大澤隆夫 熊谷政子 黒澤三郎  
今野順子 佐々木忠雄 佐藤昇 佐藤力哉 進藤豊和 進藤勇吉  
須田若子 戸澤龍悦 原松男 茂木保治  
(委員16名の出席、欠席2名 小柳都 千葉嗣助)

出席職員：総合支所長 佐々木ジョージ  
 総合政策課 副主幹 福原 敬 主事 橋場 渉、  
 秘書課 主査 加藤健一郎  
 市民課 課長 齋藤修、 農林振興課 課長 佐藤喜三男  
 教育委員会 仙北分室 室長 樫尾幸雄、  
 健康増進センター仙北分室 主幹 武藤和子  
 地域振興課 課長 熊谷博英 主幹 伊藤隆造 主任 池田奈緒子  
 建設課 課長 佐々木博（出張のため欠席）

## 12. 発言内容

熊谷地域振興課長	<p>【開会】</p> <p>欠席委員からの届出を報告し、第1回仙北地域協議会の開会を宣告。名前を読み上げますので、その場で受けていただきます。</p>
栗林市長	<p>【栗林市長から委嘱状の交付】</p>
熊谷地域振興課長	<p>続きまして、新しい年度が始まり、職員の異動がありましたので、佐々木支所長から職員を紹介させていただきます。</p>
佐々木支所長	<p>出席職員の紹介。</p>
熊谷地域振興課長	<p>ここで、栗林市長がみなさまにご挨拶申し上げます。</p>
栗林市長	<p>仙北地域協議会の開催にあたり一言ご挨拶申し上げます。</p> <p>この庁舎には東部農業委員会があります。西部農業委員会と合併しようとしており東部農業委員会が合併の事務局として位置付けられています。あと文化財保護課、広域の介護保険事務所もありますので、総合支所だけでなく関係するところですので訪れてみてください。今日は大変お忙しい中お集まりいただきまして有り難うございます。</p> <p>委員を継続いただいた皆様はご承知のことと存知ますが、合併により誕生したこの大仙市は、地方自治法に定める一般型と呼ばれる地域自治区を選択しまして、各旧地域に地域協議会を設置しました。この地域協議会は、合併前の各地域の特性を活かしながら、住民自治を活性化することによって、新市の均衡ある発展をめざすための制度であります。そして、この地域自治区における最も重要な機関が地域協議会であります。総合支所が配置されておりますので、総合支所の皆さんと一緒に地域の身近な課題について市民と行政との協働の取り組みということを会議の中でいろいろ4年間頑張ってくださいました。そうしたなかで、我々は一般型の中に地域枠予算を設けさせていただきます</p>

した。地域協議会の皆さんがこの限られた予算ではありますが、地域の様々な課題に即対応できるよう、そのような仕組みでこの4年間実施してきました。

皆さんのお手元にあります4月18日付けの朝日新聞の朝刊に、地域協議会の合併後のそれぞれの取り組みが紹介されておりました。我々のような地域自治区、地域協議会、総合支所といった一般型というのは全国でもそんなに事例が少ないのでありまして、確か17か18ぐらいであったと思われまます。そこにその地域枠予算をセットしているという非常にめずらしいケースだと言われております。最初委員にお願いした皆様はこの地域協議会で何をやるのか、どういう活動をするのか、とまどいもありましたけれども、皆さんのお陰でこの4年間支所の皆さんと一緒にやってきて、少し展望が開けてきたのではないかなという思いであります。私も活動が前に進んでいると思っているので、これからも宜しくお願い申し上げます。この中に県内の由利本荘市であるとか横手市の事例が出ておりますが、なかなか皆さん苦勞しているようであります。大仙市は大仙市なりに制度をいかして前向きに進んでいるのではないかなと思います。

4年間委員を引き受けていただきまして、また継続してまた4年間引き受けていただく皆さん、そして当地域では新たに3人の方が当地域地域協議会の委員として参加いただいております。一つ新任の委員の皆さんを含めて宜しくお願い申し上げます。本年度の地域協議会の関連予算につきましては引き続き全体研修であるとか、あるいは先進地視察の予算は本体に計上させていただいておりますので、これをいかしながら、より良い地域協議会の活動をお願いしたいと思っております。併せて地域枠予算につきましても、もう少しアップしたいと思いましたが、なかなか財源手当ができなくて大変申し訳ありませんでした。昨年同様地域協議会5百万円ということで活動を考えてもらいたいということで宜しくお願い申し上げます。この地域枠予算という考え方も委員のみなさんはもちろんのこと、大分一般市民の皆さんもどういった使われ方をしたらよいかわかっていらっしゃる方が多くなっているような気がします。これは委員の皆さんを含めて一般市民の皆さんにこうした活動、予算というものをもう少しPRして行く必要があるのではないかなと思っております。一つ委員の皆様からもこのへんのところを一般住民の方々を巻き込んだご協議をお願いしたいかなと思っております。

私も早いもので4年ということで、この4月任期満了ということで、今回再選ということになります。また4年間大仙市の市政を担当してゆきますので、一つ、よろしくお願い申し上げます。前々から言っておりましたように、「市政は市民のために」を基本理念として市民と行政が一体となって動くという概念でまちづくりを進めて行きたいと

思っておりますので、4年間いろいろやって来まして、そういう活動がかなり見えてきたと思っておりますので、これからも強化して参りたいと思います。常々言っておりますが、市役所は一番住民の前線にあります。そういう意味では最大のサービス産業であると思っておりますので、職員も市民の皆さんと一緒に現場に入って汗を流しながら、一緒に話し合いをしながら企画を考えたり実施して行くという関係を、これからもより強化してゆかなければならないという立場で、職員と共に私も汗を流して行きたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。

それから最後であります。事前に説明がしてあると聞いておりますが、今年もこの前の広報で21年度予算特別号という形で、出来るだけ工夫をしながら市民の皆さんが見れる読めるような、大仙市の予算、事業という概念で、つくらせていただきました。これは3回目です。かなり見やすく出来ていると思っておりますので、保存版として時々市民の皆さん控えていただいて、この事業どうなっている。どの所管だろうとお話しを出していただきたいと思っております。我々3回目ですので編集上工夫をしておりますが、他の自治体ではこういう物はなかなかないよう参考事例としてあちこちから問い合わせがきておまして、我々自分たちで考えたものですから、どんどん他の自治体に参考にして下さいということを出しております。まだまだ改良する点がたくさんあると思っておりますが、これを見ると市の課題、市のやろうとしているところ、心配している財源、財政の問題もできるだけ分かりやすく表現しているつもりですので、ときどき開いてみてもらいたいなと思っております。そういう中で21年度仙北地域の課題であります。今一生懸命作っております簡易水道も大分進んで参りました。21年度位から一部供用開始できると思っております。順調に進んでおります。あと水が厳しい地域でありましたので旧大曲の上水道をどんどん広めるという概念と簡易水道でかなりカバーできるのではないかなと思っております。一時真木ダムの建設に水源を求めようという計画がありましたが、県がとても無理な計画だということで断念しております。真木ダムに変わるいわゆる斉内川の洪水調整と水道水の確保、一部灌漑用水の確保という課題を振興局を含めて県の本庁の皆さんと初めて協議をして、代替案づくりを終わりました。それに基づく斉内川の改修計画と水源を全部県の責任で調査して水源の確認をしてくれます。斉内川の改修は今年度から本格的に、JRの陸橋から玉川の合流点まで少し堤防を嵩上げしたり少し河床を直したりする形で進んで10年かけて20分の1の安全度までゆくという工事が始まります。約40億ぐらい投資で完成するという計画がスタートいたします。それから水道の関係につきましては、一昨年から水道局のほうでそれぞれ対象の皆さんにアンケート調査などを

行ないながら、長期的な計画づくりをしております現在のところ予想したよりも、仙北地域は今の戸地谷と大曲の水が入ってきていますので、大分解消されたということで、思ったほど簡易水道の要望がでていません。ただ水の厳しい地点については全部調査しておりますので、どこから水源を求めるかといったことも先程も言ったとおり調査しております。ただあくまで市民の皆さんから簡易水道事業を進めてくださいということで出てくれば対応できるような形で計画をセットしております。これは中仙地域、太田地域も同じような形で要望がまとまって出てくれば取りかかれるようなそういう長期的なビジョンを描きながらやっておりますので、またあとで支所の方から説明の機会があると思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。

いま一生懸命地域の体育館の建設を進めております。ただ順調に進んでいるという報告であります。10月位には出来るという工程で進んでおります。この体育館は旧仙北町の体育館という位置付けではなくて、旧大曲と接しておりますので、あるいは中仙の皆さん太田の皆さんを含めて関連する東部地区の体育館として利用、運用、中心は仙北地域となりますが、一つそういう形で、利用出来るような仕組みにしていきたいと思っております。

それとあわせて今の都市計画のマスタープランを作っております。その中で、この通りバイパスが入って来まして、両側がずっと開けてきました。どこが旧大曲なのか旧仙北町なのかわからなくなりました。これに伴いまして、道路の接続の問題が大きくなってきております。前々からいろいろ調査したり、いろんな手法を考えておりますが、こちら側の支所あたりから行くバイパスに向かう道路の改良、改修の問題点があり、大きな課題となるということで準備に入っております。これは併せて都市計画をどの辺まで開発を許すこととするか田んぼをどこまでするか線引きしたり作業の中で、道路問題その他も開発が非常に進んだ地域になりますので、整理しておかなければならないということで今マスタープランは都市計画を含めて調整させていただいているところでございます。池田邸の問題であります。池田さんから全部大仙市にご寄付をいただいて、池田さんの考え方をいかしながら時間がかかりますけれどももしっかりした長期計画のもとですばらしい公園的拠点施設にしてゆこうということで、合意しておりますのでこの長期計画に基づいてずっと手を入れて行きたいと思っております。今洋館の復元をやっておりますけれど、順調に来ているようであります。今年の秋の公開あたりには外側部分工事の足場などが外れて、外から当時の洋館が紅葉の時期に見れるようなところまでいけるということでもありますので、秋の公開が楽しみであります。あと一年位かけて中の細かい非常に文化的なものもありましたので、それを別の所で修復したりしておりますので、中の方を1年位かけてやれば洋館そのものが再

来年あたりには、中外もできていますので、一応完成するという  
ことになります。この洋館の方が終わればいろいろ計画を考えてお  
りますが、蔵もあります。こうゆう物をどうゆう形で活かしてゆけ  
れるのかというテーマで、それぞれ会の皆さんを中心にしながら、  
我々だけでなく外に誇れる文化財にして大事にやっ行って行かな  
ければならぬと思っております。それと併せて県が中心にやって  
おりますが、弘田の柵跡と池田邸をからめてゆけば全国的に人を  
呼ぶということができるのではないかな、と少し期待を持ちなが  
ら大事に2つのものをからめたものでやっ行って行かなければ  
ならぬのではないかなと思っております。その辺が少し大きな  
仙北地域の事業ではないかなと思っております。ご報告させて  
いただきました。あと様々な身近な課題については、改めまして  
予算編成関係の中で説明したと聞いておりますが、今スプリ  
ングレビューという形でもう一回、一回作った予算をどうゆう  
ふうにしっかり実行してゆくかということで、重要課題につ  
いて今協議を行っております。それが終わるとはっきりどの  
辺から予算がスタートするか見えてきます。おそらく6月  
あたりの地域協議会で仙北地域の課題につきましてもう少  
し詳しくどうゆう形で進行してゆくか支所の方から報告受  
けると思っておりますので、その返答はもう少しお待ち願  
います。少し長くなりましたが、私からのご挨拶を含めて報  
告を終わらせていただきます。今日はどうも有り難うござ  
いました。

熊谷地域振興課長

恐れ入りますが、この後の議事については委員の皆様にお願  
いする事といたしまして、ここで市長は退席させていただきます。  
ご了承をいただきたいと思っております。

【栗林市長退席】

熊谷地域振興課長

議事に入ります前に、新任の方もおられますので、簡単に一  
言自己紹介をしていただきたいと思います。

【席順に各々委員自己紹介】

熊谷地域振興課長

今回は委員改選後初めての協議会であります。大変申し訳  
ありませんが、再任の委員の皆様には再確認という意味で、  
若干お時間をいただき、事務局より地域協議会の概要につ  
いて説明します。

伊藤主幹

【条例・運営規程・役割について説明】

熊谷地域振興課長

ただ今の説明につきましてご質問ございませんか。

大澤隆夫委員

大仙市地域自治区の設置等に関する条例の第9条6項の「会  
長は、審議上必要があると認めるときは、委員以外の者を  
会議に出席させ意

見を求めることができる。」とありますが、対象となる方は市民はだれでも良いということですか。

熊谷地域振興課長

当然何らかの問題が発生した場合は、それぞれの関係者、団体の代表者を呼んでお聞きしたいということであれば、会長名で出席をお願いして出席させることが出来るということです。

佐藤力哉委員

地域枠予算の地域緊急対応措置事業についてですが、廃止になるようですが、中味について問題なければそのまま採用するという考え方でよろしいでしょうか。

熊谷地域振興課長

地域緊急対応措置事業は、支所長枠予算と言われるもので、もしも緊急に対応しなければならない事態となったとき、支所長の判断で予算執行することができました。それについても総てを地域協議会で協議して実行していただきたいということでございます。その点のみ変更となったことで中味については変わらないということです。

熊谷地域振興課長

本日の地域協議会、委員の2分の1以上が出席、大仙市地域自治区の設置等に関する条例第9条第3項の規定により、本協議会は成立をご報告いたします。

次第6の議題1、会長及び副会長の選任についての進行は佐々木支所長が行ないます。

佐々木支所長

暫時進行役を努めさせていただきます。

それでは、議題の1、会長及び副会長の選任についてであります、「大仙市地域自治区の設置等に関する条例」第7条の規定により、委員の互選によって定めることになっています。

その互選について、どのように取り計ったら良いかお伺いをいたします。ご意見ございませんか。

佐々木忠雄委員

この4年間前佐藤会長の会議の持ち方によりましてスムーズに会議が進行されてきたなど感じております。4年間慣れたところまたご難儀をお掛けいたしますが、会長に佐藤力哉さん副会長は熊谷政子さんで頑張ってもらいたいと思います。皆さんご同意お願いしたいですが。

【会長、副会長ともに異議なしの声多数】

佐々木支所長

佐々木忠雄委員のご意見は再任ということでしたが、他にございませんか。

【他に意見なしの声多数】

他にご意見ある人がございませんので、会長に佐藤力哉委員、副会長に熊谷政子委員で皆さんご異議ございませんか。

【満場一致で異議なしの声】

仙北地域協議会の会長は佐藤力哉委員、副会長に熊谷政子委員に決定いたしました。これで仮議長の任務を解かせていただきます。

熊谷地域振興課長

会長、副会長に就任されました方々よりご挨拶をお願いします。

佐藤会長

また再選されました。前回会長に指名されたことを昨日のことに覚えております。黒澤三郎委員より「お前が一番若いからお前がやれ」と言われました。大先輩達からやれと言われればやる以外ないので、なんとか4年間努めさせていただきます。皆さんの協力なしではこの協議会は進行できませんので、是非お力添えのほどお願いいたします。

熊谷副会長

恐れ入ります、会長が一番若くて選ばれたとすれば、年増の女房は役不足と思いますが、この4年間何も出来ないで終わってしまいましたが、この後もどうぞよろしくご指導ください。

熊谷地域振興課長

会議の進行につきましては、佐藤会長よりお願いいたします。

佐藤会長

議題の2、会議録署名委員の指名を行ないます。会議録署名委員は、仙北地域協議会運営規程第7条第2項により、議長が指名することになっております。よって、戸澤龍悦委員と原松男委員にお願いいたします。

佐藤会長

続きまして、その他にうつります。事務局から説明願います。

伊藤主幹

開催日時につきましては、従来、平日の夜に開催しておりましたが、新任の委員さんもあり、これから新しく4年間ということで、改めて皆さんで協議して決めていただきたいと思います。

佐藤会長

当初ということでまた新たに協議しなければならないということで、茂木保治委員ご意見伺います。

茂木保治委員

夜はできるだけ避けていただきたいと思います。

進藤勇吉委員

特にこのことに関しては、女性委員の意見をお聞きしたほうが良いと思います。

佐藤会長	特に日中お勤めの方という意味だと思います。女性の方3名おりますので、それぞれご発言願います。
池田キミ委員	曜日さえあえば、日中の明るい時間に開催してもらいたい。
須田若子委員	私はどちらでも結構です。早めに開催日が分かればいいです。
今野順子委員	私も出来れば、日中お願いしたいです。
佐藤会長	日中は絶対だめだと言う方はいらっしゃいますか。 【なしの声あり】 それでは、今年度は日中に行なうということにいたします。 次に席順について事務局よりお願いいたします。
伊藤主幹	席順については、当初ということで、50音順に設置しておりますが、どのようにしたら良いかご協議お願いいたします。
佐藤会長	どのようにしたら良いでしょうか。 【このままで良いという意見多数あり】 それでは、このまま50音順で決定いたします。
佐藤会長	以上でその他の事項については終了します。 その他に委員の皆さんからご意見があれば、今後の参考にさせていただきますが、何かございませんか。
茂木保治委員	次回の開催予定を教えてください。
熊谷地域振興課長	予定としては5月末か6月の初旬に開催したいと考えております。実際、地域枠予算ですが、要望が出てくれば地域協議会にかけられるわけですが、確実な日程というのは決めておりませんが、その頃を予定しております。
佐藤会長	他にございませんか。
黒澤三郎委員	協議会の開催時間についてですが、いままで大体2時間位で終了しておりますので、午後3時から午後5時までという具合には行かないものでしょうか。
佐藤会長	時間帯について、午後3時から午後5時までという意見ですが、ど

	のようにいたしますか。
茂木保治委員	私は賛成です。
熊谷副会長	時間まで限定してしまうことはいかかなもののでしょうか。事務局でも困ることがあると思いますが。
熊谷地域振興課長	事務局では、支障はありませんが、基本的な考え方として午後3時から午後5時までということで、変る場合もありますよということでお願いしたいと思います。
佐藤会長	行事によって、臨機応変に対応して行きたいと思います。
池田武委員	体育館の指定管理者の説明会に進藤委員と出席しましたが、従来の考え方では、市が作ってくれる体育館なので、市が管理するという考えでいた。説明を聞くうちに地域に作ってもらったから地域で管理して行かなければならないという気持ちになってきましたが、管理者となれば経営してゆくとゆうことが求められます。このことは真剣に考えなければならぬと思っております。
佐藤会長	指定管理者ということについて、樫尾分室長説明願います。
樫尾分室長	指定管理者制度ですが、うちの方の計画としては、平成23年度4月からスタート。池田武委員がおっしゃるには体育館ということでしたが、体育施設全部を指定管理していただくという計画です。要するに指定管理受けた方が経営をしてゆくということです。柵の湯が現在そういう形になっております。今年の4月からスタートする八乙女公園、野球場、研修センターなどを民間の会社が請け負っております。ただ地域でやるとすれば大変な事務量もあり、行政方で支援してゆくという形になりませんので、その形を作って自分達で経営しますというようなものです。
佐藤会長	第3者に経営を委託するというようなものですが、施設の維持管理の経費も利益から出すということですか。
樫尾分室長	その通りです。
佐藤会長	市の方では、一切維持管理費用については出さないということですか。

熊谷地域振興課長 指定管理については、指定管理料が設けられます。当然経費に係るわけでございますので、たとえば、この施設については100万円の指定管理料を払いますよということで、募集をかける訳です。うちの方ではそれでやりますよという団体等が申し込んで指定管理を引き受ける訳です。実際その額は算定してみなければわかりません。ただ柵の湯の場合は収入があるということなので、その収入を持って、指定管理お願いするということで、市からの指定管理料は一切払ってございません。それでも良い、指定管理を受けるという業者があったので、その経費は其中で賄ってくださいということです。ただいまの体育館は収入が上がってくる施設ではございません。従いまして、市としては、指定管理といたしまして、管理料をつけてやるという形になるかと思えます。金額についてはハッキリしてございませんが、いずれにしても、金額がついて指定管理となると思えます。

進藤勇吉委員 私も体育館を利用して使用料を支払っております。もし、指定管理者制度を導入したことで、利用者の負担が高くないように、監視して行きたいです。

熊谷副会長 私もその勉強会に出席しましたが、進藤豊和委員に出席した感想を述べていただきましたと思えます。

進藤豊和委員 この発想は、土井体育会長の発案でありまして、指定管理者になったら、地域の体育館として加盟団体が使いやすいように、体育関係の団体を作って、そこで指定管理を受けようではないかということで、それにはまず勉強しようではないかということで参加いたしました。一番気になることは、4年前は今の倍ぐらいの体育館を建築の予定であった。その後合併して、財政上の都合で地域指定の体育館ということで、現在の大きさに変更になった。主に仙北地域で使える体育館という認識でおりました。ところが、今日の市長さんの話の中で、東部地区で共有出来る体育館にしてほしいという話でありました。そうなった中で、指定管理者制度ということで、完全に第3者に入られた場合、他の地域からの利用が多くなったとき、従来どおりに、今の団体が使えるかという問題があると思えます。そうすれば、地元で指定管理を受け経営して行けばスムーズにゆくのではないだろうかと思っています。

佐藤会長 非常にむずかしい問題がはらんできておりますが、我々としては、今後の運営団体に対して監視してゆくということをやって行きたいと思えますので、この件についてはこれで終わりたいと思えます。他にございませんか。

佐々木支所長

先程職員の紹介をさせていただきましたが、私も含めて課長の全員が地元出身で、他に出向いていた職員も帰ってきております。大分総合支所に来やすい環境が整ってまいりました。仙北地域発展のために頑張っておりますので、今後ともご指導よろしく願いいたします。

佐藤会長

以上をもちまして、本日の会議を終了いたします。長時間ありがとうございました。

この会議録の記載が真正であることを保証するためここに署名、捺印する。

仙北地域協議会署名委員

-----

仙北地域協議会署名委員

-----